

知多半島医療圏における災害医療対策について

1 昨年 9 月以降の取組

(1) 平成 29 年度知多半島医療圏災害医療部会ワーキンググループ

対象	三師会と市町	病院
日時	平成 29 年 12 月 1 日(金) 午後 2 時から午後 3 時 30 分まで	平成 29 年 12 月 5 日(火) 午後 3 時 30 分から午後 4 時 55 分まで
場所	半田保健所 4 階大会議室	半田保健所 4 階大会議室
出席者	地域災害医療コーディネーター 3 名、 三師会及び市町 2 7 名、 オブザーバー 1 名、事務局 1 2 名 合計 4 3 名	地域災害医療コーディネーター 3 名、 病院災害担当者 2 2 名、事務局 8 名 合計 3 3 名
議事	(1) 前線型 S C U 等について (2) これまでの取組状況について (3) 情報共有について	(1) 前線型 S C U 等について (2) 知多半島医療圏内病院間の連携体制 について (3) 情報共有について
議事内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発災時には、医療体制を取ることが難しい、大変だという状況の中で、前線型 S C U を半田運動公園に作らないとどうにもならない状況になるので、みんなの御協力をよろしくお願ひしたい。 ○ 前線型 S C U の設置の決定にあたっては、各市町の地域防災計画で位置づける必要がある。 ○ 三師会のそれぞれ会員の被災状況を把握できる体制を作っていただきたい。また、三師会のそれぞれ会員の被災状況はまとめて該当の市町に連絡していただきたい。 ○ 関係機関連絡先名簿について、災害時の連絡先を追加することとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前線型 S C U を設定するということが決定されたら、素早くその準備に入らなければならない。前線型 S C U を運営するために、半田病院の統括 D M A T は、まず前線型 S C U に入らなければならない。 ○ 発災時の急性期の対応として、知多半島を北部、中部、南部に分けて、それぞれ災害拠点病院を中心に対応していく。その理由は、急性期は道路事情が悪く人や物の移動が難しい中、個々の病院、市町で対応せざるを得ないだろう。災害医療対策を狭い範囲で考えた方がより具体的な対策が取れると考える。 ○ 関係機関連絡先名簿について、災害時の連絡先を追加することとした。

(2) 平成 29 年度南海トラフ地震時医療活動訓練

ア 日時：平成 30 年 1 月 21 日（日）

イ 場所：半田運動公園：午後 1 時から午後 3 時 30 分まで

名古屋空港：正午から午後 3 時 30 分まで

2 今後の予定

(1) 平成 29 年度知多半島医療圏災害医療部会：平成 30 年 3 月 6 日(火)

(2) 平成 29 年度知多半島医療圏災害医療対策講演会：平成 30 年 3 月 11 日(日)

3 その他

南海トラフ地震の被災想定では、知多半島医療圏は被害が大きいと予想されています。大規模災害発生時の医療対策は、知多半島全域が総力をあげて対応しなければなりません。今後とも御理解御協力をよろしくお願ひします。

【平成 29 年度南海トラフ地震時医療活動訓練の様子】



市町の方への説明



DPAT



時間	担当	内容
6:00		南海トラフ巨大地震発生 県災害対策本部を設置
7:00		当院を活動拠点本部に指定した 11-4-2001 連絡先: 090-5006-8577
11:55	豊田市 DPAT調整班 0-9+1	別荘空費 SCU を設置
12:11		愛知県災害対策本部の下位組織に当院
12:39		前線型 SCU (半) 設置
12:43		近域医療連携
12:46	豊田聖徳 (EMS)	EMLS 小牧空港 (130 (定員 6名)) 75410 手配: 14:00・14:35・15:05
12:52	保大	EMAT 調整班
13:00	豊田 調整班	EMAT 調整班
13:07	保大	EMAT 調整班
		DMAT調整班が「医療=2」を把握した 搬送が「必要」な病院の情報を報告 ・共知HP 重症1, 中等症1 ・知多厚生HP 重症10, 中等症5 SCU立ち上げ完了
13:14	半田 SCU	保大
13:16	前線型 SCU	保大
13:20	豊田 調整班	EMAT 調整班

